

研修だより

平成30年7月26日発行

研修部だより 第1号

～小学部～

小学部は、「主体的、対話的で深い学びの視点での授業改善の取り組み ～自分から『やってみよう』と学ぶ児童の姿をめざして～」をテーマにあげ、「主体的・対話的で深い学び」の視点をもった授業者支援会議を行い、授業改善を繰り返すことで、自分から『やってみよう』と学習する児童を育てることができるのではないかと仮説をあげ、研修をスタートしています。

先日、早速「実技研修」を実施しています。3人の講師の先生方（調理：戸佐先生、造形：小笠原先生、体育：佐藤丈先生）のご活躍もあり、充実した、大変活気のある研修となりました。参加した先生方からも多くの「良かった」という意見がでています。また、5つのグループに分けての授業改善の取り組みもスタートしています。主題の実現へ向けた取り組みをこれから行っていく予定です。

今年度もより充実した研修を進めるべく、小学部全体で取り組み始めているところです。



～中学部～

中学部では今年度「中学部における『主体的・対話的で深い学び』のできる授業の構築 ～生活単元学習の授業改善を通して～」という研究テーマを設定しました。

以前から中学部内では、生活単元学習の授業改善に効果的に取り組むことが課題として挙がっていました。昨年度末に職員から取った「生活単元学習における実践上の課題」についてのアンケートから、今後重点的に解決すべき点は「3年間を見通した指導内容の充実」であるという結果が導き出されました。そこで、昨年度まで朝の学習における授業改善で行ってきた授業者支援会議のノウハウを活用し、「主体的・対話的で深い学びの視点」を各授業者が意識して研究授業を重ねることで、生徒の学ぶ姿と指導内容が相互的に充実することを目指しています。



～高等部～

高等部の研修テーマは「主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた日常的な授業の評価・改善の取り組み」です。平成32年度の普通科Ⅱ型への移行に向けて、今年度から試行的に取り組みが始まった、『Life & Work』（仮）の授業研究を行い、授業の改善と指導内容や目標の検討をします。

1学期は、2・3年生から4名の先生が授業研究を行いました。1回目の授業者支援会議で出たアイデアや意見を基に、2回目の授業を行い、授業を改善していきました。授業の内容としては、清潔や栄養など健康管理に関わること、将来の生活を意識した作業学習や現場実習に向けた学習などでした。2学期も8本の授業研究を行い、授業改善をするとともに、『Life&Work』（仮）の指導内容や目標の具体化をしていきます。さらに、「障害者の選挙を知ろう」というテーマで、札幌市の選挙管理委員会の方に来ていただき、障害のある人が選挙に行き、投票するために、どのように支援をしたらいいのかななどを教えていただきます。



～訪問教育部～

訪問教育部は、「主体的に学ぶ力を引き出すための授業づくり～日常的な授業改善の取り組みを通して～」を研修テーマに、あゆみ小中、あゆみ高と在宅、病院の3つのグループに分かれて授業研究に取り組んでいます。主に、授業の動画視聴による授業研究を行い、改善のアイデアは新たに提案した「参観シート」へ記入し授業者に渡す、という訪問教育部の実態に合った授業者支援会議の形で進めています。参観シートでは、3つの授業改善の視点を意識して改善のアイデアを考えられる様式になっています。児童生徒の実態についての交流をしながら、皆と一緒に明日の授業の改善に向けて取り組んでいます。

また、実習・実技研修では、重症心身障がい児者の介助方法について、あゆみの園の作業療法士の方を講師に招き、筋緊張の強い方の姿勢体験やポジショニングの基本実技等、介助を受ける側の視点からの学びも多くあり、実際の指導につながる研修となりました。